



COVID-19: ワクチン情報

妊娠と授乳

なぜワクチンを受ける必要がありますか？



- 妊娠の専門家は妊娠中、または授乳中の方が**COVID-19ワクチン接種を受けることを推奨しています**。これには時期が来たらCOVID-19ブースター接種を受けることも含まれます。
- 妊娠中、または産後間もない方は、妊娠していない人に比べてCOVID-19による重症化の可能性が高くなっています。
- 妊娠中にCOVID-19にかかると、早産や死産のリスクが高くなります。
- **COVID-19ワクチン接種を受けることで、あなたとあなたの赤ちゃんをCOVID-19による重症化から守ることができます**。妊娠中にできる限り健康を保つことはあなたの健康だけでなく、赤ちゃんの健康にも重要です。ワクチンから受けられる保護は赤ちゃんに移行し、生後数カ月の赤ちゃんを守ることに役立ちます。



いつワクチンを受けるべきですか？

- ワクチンは**妊娠中いかなる段階**や授乳中でも受けることができます。
- ほとんどの人はPfizerかModernaの2回接種のプライマリーシリーズとその5か月後のブースター接種が必要です。免疫不全症の方は追加接種、および/または2回目のブースター接種を必要とする可能性があるため、医師に相談してください。詳細は ph.lacounty.gov/VaccineAppointment に記載されているワクチン接種スケジュールをご覧ください。



安全性は？

- 何千人もの妊娠中の方が**安全にCOVID-19ワクチンを受けています**。これまでに流産、死産、発育不良、先天性疾患のリスクが増加するというレポートはありません。
- 質問がある場合は**医師に相談してください**。866-626-6847までお電話、855.999.8525までテキストやContactUs@mothertobaby.orgまでメールでご相談ください。mothertobaby.org/ask-an-expert からチャットでのご相談も受け付けております。



健康保険を持っていなくても、ワクチンは全ての人に無料で提供されています。

滞在資格を尋ねられることはありません。ロサンゼルス郡にはたくさんのワクチン接種場があり、その多くは週末や夜まで営業していて、予約の必要はありません。お近くの接種場をお探しの場合は VaccinateLACounty.com にアクセスするか、午前8時から午後8時半の間に **833-540-0473** までお電話ください。

- 2-1-1に電話でや、かかりつけ医や地元の薬局に尋ねることもできます。
- 交通手段やワクチンの訪接種も無料で提供されています。